

2021/12/5

(うときゅういっきの「これから」同調圧力 その正体 1)

予定していなかったお話しを2つも差し込んでしまった為に、ご案内の「同調圧力 その正体」の開始が遅れてしまいました。

大変申し訳ございません。

お待たせした分、早々に結論から先に申し上げます。

「同調圧力の正体とは何か」

曰く

「我々日本人の美意識、もっと言えば美学に根ざしている」

と。

そもそも此処まで根深いものに対してマイナス評価意識など在ろう筈がありません。此処迄根深いからには必ずやプラス評価意識があると考えておりました。

その美学とは何か？

と申せば

「一」

です。

一番の「一」ではなく「一体」の「一」

我々日本人は兎に角「一」が大好きな民族です。

例えば

「一糸乱れぬ」「一致団結」「一丸となって」「一心不乱」「一球入魂」「一気呵成」「一意専心」

「一気通貫」「一事が万事」

等など数え上げれば切りがありません。

因みに親が第一子の自分に付けた名前も「一貴(かずたか)」でした。

兎に角我々日本人が「一」に託す思いというのは格別なものがあるようです。

即ち「均一」「整然」「精緻」「等質」「不純物無し」の「均質統一美」のようなものを求める心象とでも申しましょうか。

裏を返せば「はみ出し」や「不揃い」「例外」「異質異端」を嫌う傾向です。

其れ等は美しくないし不穏であると言う心象。

思うにこの不安感こそが「同調圧力の正体」ではないかと。

その奥底には「我々日本人が持つ美学」に対する守護者としての自負があるような気がします。

移民政策を嫌ったり英語を超絶膨大な語彙を持つ日本語と同数分だけ英訳しようとしたりする傾向も同じ根っこから出ているような気がします。

前者は不純物の混入を嫌い後者は同一の精緻さを求める傾向からとでも申しましょうか。

他にもいろいろ述べたいことはありますが取りあえず本日は此処迄。

次回以降はその同調圧力が産み出す我々日本人の様々な心象について観察をして参りたい

と思っております。

追記)

均質統一美、左右対称、精緻この上なしが一番現れているのは古の「仏像」や「仏教建築」で在るような気がしております。直感的には。

要するに古来より我が民族に備わった相当根深いものだと言うことで御座いましょう。